

# ボケツトジャーナル



## ★力作ぞろいの神戸製鋼美術賞展

神戸製鋼では自社のカレンダー原画を一般から公募し、神戸製鋼美術賞を設定した。応募作品は全国各地から集まった。



秀作ぞろいの神戸製鋼美術賞展

ちか広場で、入賞、入選作品の展覧会が行われ、人氣をあつめた。

いづれにしても、この美術賞のねらいである「あすを担う新人作家の画壇への道をひらく機会となり、日本の文化と美術に微力ながら寄与したい」という考えは見事に成功したといえよう。審査委員長の乾由明氏は「今回の美術賞展は日本の現代絵画のひとつの断面を示したもので、企業と文化の新しい結びつきを表現したものとして、大きな意味をもって」と評価している。

## ★さよなら「チトラル号」

神戸港に最後の寄港

入賞は神戸製鋼大賞「鉄賞」に松本文子（京都市）準賞「鋼賞」には川内麻嗣（京都市）、山田信義（高槻市）、佳作として、山名将夫（浦和市）、山本正彦（八尾市）、増地保男（摂津市）の各氏で入選は全部で入賞者を含めて50名である。

十月十六日より二十一日までさんちかタウン、さん

チトラル号（一万三千八

百二十二）はイギリスの客船で十年前から年六回ほど神戸に寄港、すっかり市民に親しまれていただけに最後となるとやはり淋しい。



「チトラル号」に別れを惜しむ

別れを惜しむ船キチや、クイーン神戸、市消防音楽隊らに見送られて十月十九日、たそがれ迫る神戸港を後に、オーストラリアへと旅立って行った。

## ★バリの素肌

清々しい写真展

写真家荒尾純さんが、去る10月14日～20日、トア・ロード画廊で初めての個展「バリの窓・壁・道」を開いた。

関西学院大学文学部美学科を卒業した荒尾さんは、

「学生時代はのん気なもので、今のようには将来何になるのかと必死になってギスギスした学生は少なく、私もいつの間にか写真家になっていくという感じです。しかし、今度の初めての個展で、つくづくプロカメラ

誕生日  
ありがとう

運動



古切手収集に協力を!!  
あなたの会社や家庭で、古切手（使用済の日本、外国どんな切手でも可）が、捨てられていませんか。

本運動では、精神薄弱児問題についての啓発運動を展開しています。この運動資金の一部として、古切手を収集しています。昭和49年度は、古切手販売で約二十五万円の資金をつくりました。ご協力いただいたみなさまに心からお礼申し上げます。

古切手収集は

◇古切手の周開約一センチ程度しりて切りとってください。  
◇それを、誕生日日記がとう運動本部へ、郵送あるいは持参ください。  
◇いただいた方に、運動参加のカードを送ります。

あなたも、あなたのまわりにある古切手にハサミをいれるという行為を通じて、なにげなく捨てられていた古切手に、新しいいのちを与えてください。そしてみなさんのあたたかい心を集める福祉のこの運動に、ご参加いただきますようお願いします。

誕生日ありがとう運動とは

精神薄弱児問題の啓発運動です。みなさんの誕生日のお祝の中から意識的に古切手として貯金していただく。各家庭でこの問題について話し合う機会をつくってください。この古切手がかりとしてわたしたちすべてが、精神薄弱児（者）をあたかく包む雰囲気を広げると同時に、ひとりひとりのかけがえのない生命について思いをめぐらせ、年に一度の誕生日を有意義にしようという運動です。

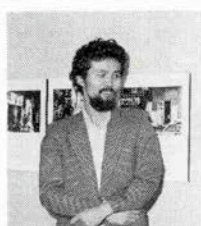
誕生日ありがとう運動本部

〒651 神戸市東灘区御幸通8の1の6 神戸国際会館一階の郵便局の前  
☎2511816 1内線316



六甲山でのロケの三人娘

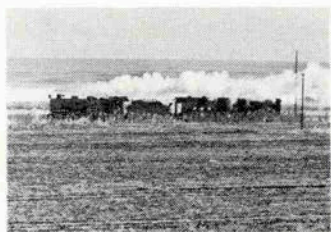
★NHKのおはようさん  
六甲山でロケ  
好評のうちにストーリー  
が展開しているNHKテレ  
ビ朝のドラマ、田辺聖子原  
作「おはようさん」のロケ  
が六甲山で行なわれた。  
今回のロケは、鮎子（秋



荒尾純さん

マンであることを自覚しま  
した」と語る。

「バリの庶民の肌合を愛し  
て、通りすがりの旅行者に  
はつい見のがしそうなもの  
をよくとらえた。そこが貴  
い。」と詩人の竹中郁氏は  
個展によせてのことばを送  
っているが、つめかけた人  
たちから「変に今様の流行  
を追わず、とても素直な写  
真である」と好評だった。



オホーツクの海

汽車の表情に喜怒哀楽を  
見、田舎の少女に出会い、  
静かな自然に触れる、そん  
な撮影旅行。美しい風土の  
中に走りつづける汽車の写  
真集が出版された。

★詩情豊かなSL写真集  
自費出版  
年3月10日放送分）  
さて、それから……。 (51

このSL写真集は、神戸  
市交通局に勤務する上川庄  
二郎さんの自費出版で「人  
情味豊かな日本の風土をこ  
よなく愛した」上川さんら  
とちがつて、風景の美しさ

野暢子）たちの計画で、彩  
子（中田喜子）たち三人娘  
と、別行動で六甲山にやつ  
てきた桐生（山城新伍）親  
子が途中で合流し、彩子に  
プロポーズした桐生と彩子  
とを引き合わせるという場  
面。計画はすずみ、彩子と  
桐生は二人つきりになる。  
（51

が味わいのひとつになった  
写真七〇点が収められてい  
る。  
家族、同僚たちに励まし  
れて出版した上川さんは、  
写真も汽車もいけば素人。  
その写真集に、乗物好きの  
十三代片岡仁左衛門さんは  
「私はこれを見、そして読  
んだとき、とても快い興奮  
を覚えました」と評してい  
る。



人気のボックス

★さんちかタウン  
伝言カード人気の的  
新しく生まれ変わったさん  
ちかタウンで人気を呼んで  
いるもののひとつに「あな  
たのポスト・エコー54」が  
ある。

このポストは、さんちか  
インフォメーションこうべ  
の中央にあり、伝言カード  
を差し込むボックスが54個  
並んでいる。中学・高校の  
文化祭や体育祭の案内、売  
ります・買いますの紹介、  
グループ参加への誘いなど  
さまざまな若者たちの活動  
のお知らせでいつも空席な  
し。とてもユニークな話題  
も多く、読むだけで楽しく  
なってくる。

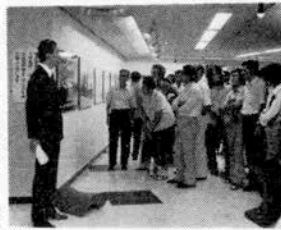
## 美術 ガイド



★兵庫県立近代美術館 国吉雄雄展 11/15/12/21	★西宮市大谷記念美術館 亀岡文子自選展 11/11/11/30	★吉備美術館 秋の取合せ名品展 10/2/12/14	★西宮市大谷記念美術館 亀岡文子自選展 11/11/11/30	★KCCギャラリー 第15回フ・アルファ展 11/8/11/21/14	★泉龍新道書道展 第11回神戸外大美術部OB展 11/15/11/21/14	★ジュン・アートワークス 11/22/11/28	★KCCアートギャラリー 瀬戸の陶芸クラフト三人展 11/29/12/4	★尾崎良一・小松節雄・山本文彦 版画展 11/17/11/29	★大丸百貨店美術画廊 75ソビエト絵画展 11/6/11/11	★中国伝統工芸品展 京の中古道具市 11/11/11/25	★奥田元床美術展 11/27/11/12/25	★さとう百貨店美術画廊 横山義雄油絵展 11/7/11/19/12	★中山玄心陶芸展 今井ロジック油絵新作展 11/14/11/19/12	★さんちか広場 兵庫県科学連合書道展 11/21/11/26	★技能フェスティバル さんちかビュティ・フエスタ 11/20/11/25	★ギャラリーさんちか 長田写真友会写真展 11/27/11/2	★創作会兵庫支展 児童防火ポスター展 11/13/11/18	11/27/12/2
---------------------------------	------------------------------------	-------------------------------	------------------------------------	--	---	-----------------------------	---	------------------------------------	------------------------------------	----------------------------------	-------------------------	--------------------------------------	--	-----------------------------------	---	------------------------------------	-----------------------------------	------------



★「ひろば」の中の現代美術  
さんちかタウン改装オー  
ブンに協賛して今年は、さ  
んちがギャラリーで9月27  
日から開催された第2回7  
／7／7。



会場で説明する乾由明さん

疎隔された大衆と現代美術との間に、パイプをつな  
ごうとするひとつのこころ  
みである7／7／7だけに  
こういうシヨッピングタウ

## 花時計



よみがえる  
北野町界隈

最近、神戸の北野町界  
隈を大切に守ろうという  
ことで「北野界隈いを守  
る会」などが出来てい  
る。実際に神戸で一番情  
緒豊かな町並であること  
は一樣に認められている

ンの中での展示は予想以上  
に会場を訪れる人が多く、  
藤原向意、河口龍夫、丸本  
耕、元永定正、斉藤智、植  
松奎二、山口牧生の七作家  
の作品に見入っていた。

★ドイツの若人たちと

一九五四年以来、日独文  
化協定に基づき日独青少年  
の国際交流が始まったが、  
今年は主に音楽や演劇に秀  
出した百四〇名のドイツ青年  
たちが来日。その中のEグ  
ループ二三名が十月十四日  
から十九日まで神戸の秋を  
楽しんだ。

一般の家庭に泊つての全  
くの民間外交。港めぐりや  
真珠加工を見学したり、十  
八日には国際会館小ホール

ところである。  
しかし、それでもどん  
どん赤い練瓦塀はくずさ  
れ、界わいに馴染んだ建  
物が消えて行く。  
どうしようもないよう  
である。

だが、ここに新しい動  
きが出てきている。守る  
だけでは駄目だ、創ろう  
というのである。

それは異人館を新しく  
建てなおそうということ  
ではない。この界隈の情  
緒を生かし、その雰囲気  
にあった建物をつくるう  
そして、北野情緒プラス

で日独交換コンサートを開  
いたり、国際都市神戸が  
すっかり気に入った様子。  
一行のお世話をした兵庫  
県世界青少年友の会のメン  
バーと友情の花を咲かせて  
いた。

★神戸の街を描いた

記念タバコ発売中



専売公社からビューティフル神  
戸と題して相楽園にある異人館ハ  
ッサム邸と、諏訪山からの眺望の  
写真を全面に使っ  
たタバコ、チェリ  
ーが発売されてい  
る。またそれぞれ  
の裏面には、この  
3月に来港したエ  
リザベスII号の写  
真を使い、2ヶ並  
べると同船の全容  
が現われる。お土  
産にぜひどうぞ。

新しい展開をというこ  
とである。

そして、ファッショ  
ンとかハンド・クラフトな  
どをテーマにした。シヨ  
ッピングエリアを創ろう  
という動きがある。

これだと膝をたたきた  
くなるような嬉しい話で  
ある。守ることも大切だ  
が、積極的に創る方向こ  
そ最大の防壁である。

そして、市民が自らの  
力で解決していく気迫が  
必要なのだ。

それでこそ、北野町界  
隈は蘇ることになる。

## ・掲示板

★クリスマス慈善バザー

11月15日(土)12時〜16時相楽園会館にて。会員手作りのお菓子、蚤の市、模擬店、お食事など。来場大歓迎。関西西英協会婦人部主催

★チャリティバザー

11月29日(土)婦人会館にて。

(社)家庭看護促進協会主催

★神戸大学六甲台祭

11月13日(木)前夜祭

東遊園地噴水広場にて。15時より市井パレード。16時より軽音コンサート、拳法演武など。ミス・カレッジ決定。

11月15日(土)16日(日)

神戸大学六甲台にて。

模擬店、舞台など。

ゲスト・古井戸／16日(日)11時30分〜12時30分。講堂にて。

海原千里、万里／16日(日)14時30分より。舞台にて。

★甲南大学体育祭

11月14日(金)前夜祭

しばたはつみ、北野タダオとアロージヤズオーケストラ。17時〜19時。体育館にて。

15日(土)学術祭

現代講座・加藤諦三氏／13時〜15時。桂福団治氏／15時30分〜18時。小ホールにて。

16日(日)体育祭

サッカー対校試合13時30分〜16時30分。演武祭／14時〜17時。グラウンドにて。

17日(月)音楽祭

グリクラブ、軽音楽部、交響楽団、女声合唱団、フォークソング同好会、邦楽研究会、マンドリンギタークラブ。16時〜20時30分。

神戸国際会館大ホールにて。

18日(火)演劇祭

応援団、能楽研究部、演劇部、歌舞伎文楽研究部。13時〜21時。芦屋ルナホールにて。

19日(水)後夜祭

北原フーファミリーバンド。18時〜21時。



蟹料理の店

かに料理の店



ばさら  
妻女 羅

神戸・三宮阪急西口北側レインボープラザ  
☎(078)321-6363

熟練の調理士が  
新鮮な材料をぜいたくに使い  
新しさを加味し盛りつけます。

日本料理

但馬水軍船料理

山海の滋味ゆたかに季節を  
盛りあげます。

◆1・2階



山崎屋 本店

# まだ遅くない

葉月 一郎  
え・小西保文 (題字も)



花

## 六甲おろし

受付の少年が戻ってきた。

「それじゃ、どうぞ」

精いっぱい声を張って少年が客に告げる。

男——金原裕介は、当然だという表情で肯いた。まるで自宅へ上がりこむような足どりで室内へ進んだ。

連れの婦人たちにも、あとに従うように目で示す。そして、一番奥のソファへゆっくり近づき、どっかりと腰をおろした。

「戸波記者が不在なら、支局長に——」という指名である。

本社発の、きまりきった通達書類から目を離すと、石津支店長はこの招かれざる客を迎えた。

頬がこけで、ここ一週間余の疲労がありありと眉間にも刻まれている。そんな支局長の表情に鋭い一べつを流して、金原は名刺を出した。

△あらすじ△ 神戸に君臨する大企業、兵庫製鉄(兵鉄)の公害をなくそうと、毎朝新聞神戸支局の石津支局長がキャンペーンを企画、取材をすすめていた。昭和四十五年秋のことだ。

仕事への情熱を失い、バーの女ユカとの情事におぼれていた戸波峻記者も、十年のキャリアを買われて参加する。たまたま静客にいらまされているところを助けてやった兵鉄秘書課の細川亜紀子と親しくなり、亜紀子は会社首脳の新開社対策などをそのつと戸波に知らせて協力する。亜紀子の兄も記者だったが誤報事件のワナにかけられて自殺したのだった。

兵鉄の花房総務部長は二人の関係をききつけ、亜紀子を工場勤務へと配置がえする。新聞社にも記事とりやめの申し入れをしならしく、支局長や泉田次長らは本社へ喚問され、キャンペーンは掲載直前に中止と決まる。傷心の戸波は、酒に溺れ激情の中で亜紀子をなつかは暴力的に犯し、絶望のあまり退社願を提出。その夜、たまたま出会った花房総務部長にひやかされ、殴ろうとして逆に路上に叩きつけられてしまう。ケガの見舞に訪れた亜紀子は「すべて、なかったことにしよう」と告げるが、看病中のユカの愛情と献身に戸波の心は傾いてゆく。

一方、同僚の八木沢ら若手記者たちは、本社へ直訴して記事の掲載を実現しようと計画するが、居合わせた支局長らにとめられ、不発に終わる。一週間後、金原という地元の男たちが「兵鉄のことで会いたい」と支局へ乗りこんできた。

「なにか、兵庫製鉄のことだそうですね」

支局長の声は、まだ心に鎧よろいを着た硬さが残った。

名刺には「豊販売」と職業が書かれている。住所をみ



ると、明らかに兵庫製鉄のお膝元である。

金原は、支局長の目が名刺から離れるのを待ちかねたように口をひらいた。

「あなたに差上げたいものがある。黙って受取って頂きたい」

切口上で伝えると、婦人に目で促した。

婦人が抱えてきた風呂敷包みを開く。中には学校のテストの答案用紙のような大版の紙がみえた。部厚い。おそらく数百枚を超えるのではなからうか。

「これだけど、ね」

風呂敷ごと、支局長の方へ押しやった。

「これは……?」

「住民の声です。新聞社でいえば世論調査っていうのかな。ま、兵庫製鉄の工場周辺に住んでる人間の、声なき声やな。」

「……」

「どんな公害の被害をうけておるか、公害に対してどう思うか、兵庫製鉄に何を望むか、これからどうすればいいのか——まあ、そういう質問を、住民ひとりひとりに直接ぶつけて、答えを書いてもらった。そういう内容と思うてもらえばいい」

「……一種のアンケートですな」

「さあ、何というか、ナマの声の集まりと、そう受けとってもらいたいね」

感動が、少しずつ、激しい速度でふくらんでゆく。それを率直に表情に浮かべて支局長は身を乗り出していった。

「これを、私の方の紙面に紹介させてもらっていいのですか」

「まだあるんや」

金原は、自分がかかえていたファイルを取り出すと、無難作に押しやった。

「こっちはな、兵庫製鉄につとめている、つまり従業員の生活と意見や。これもアンケートというか、実感をそのまま書いてもらった。六百人足らずやけどな」

公害企業に働く人間の意識調査——。なんという素晴らしい贈物だろうか。

「ありがとうございます」

支局長の声が、やや震えを帯びた。感動と疲れが、この男の目頭をうるませているようでもある。

「なあに、自治会有志の素人仕事よ。それも、時間かけて、ボツボツ集めたんや。たいした役には立たんやろけどな」

「しかし、これを、なぜ、私たちに……」

「うん。この前、わしのとこへ取材にみえた戸波とかという記者さんな、あれが、有野社長になぐられたと聞いたもんで、そのお見舞いとして、これを持ってきたちゅうわけや」

（新聞記者を一匹、血祭りにあげてきた）有野は、そういつてふれ回ったらしい。市議で、連合自治会長で、兵鉄下請会社の社長——。地元の典型的実力者である有野が……。

「新聞なんかアテにしとらんと、わしはこの前、戸波記者にいうた。一般論としては、その通りや。しかし、支局長さん。公害問題は、ちよつと違うな。アテにしとる。せんわけには、いかんのや」

急に言葉を切ると、金原はにらみすぎるような視線を支局長に注いだ。

「記事がつぶされたとか、つぶしたとかウワサは聞くけどな、そんなこと、わしは知らん。ただ、な、工場の周りの人間は、みんな待つとるよ。新聞がいつ書いてくれるのかってな。それだけは、頭の奥で覚えておいてくだらんか」

中年の畳屋と、中年の記者。ふたりの視線がからみ、もつれ、火花を散らした。そのまま、何秒かが流れた。やがて石津支局長は、ゆっくりと頭を下げた。下げたまま、動こうとしない……。

ことばは、なかった。いや、どんなことばよりも、無言であることの方が、この場合、適切であるといえた。

何のために公害キャンペーンをやるうとしたか。何のために取材で苦労したか、何のために、本社と闘ってまで掲載しようとしているのか。

すべてが読者、つまり住民のよりよき生活を願うことである。そして、いま、その住民の側から、願ってもない協力の申し出があったのだ。

ずっしりとした記者冥利が、支局長の胸をしめつけた。金原の方も、無言だった。

無言の重みを、この男もかみしめているのかも知れない。

「ありがとうございます。必ず、効果的に使わせて頂きます」

ようやくそれだけ告げると、支局長は二つの山をつくっているアンケート用紙に、熱っぽい視線をあてた。

「それじゃ」

金原は短かくいうと、立ち上がった。

「戸波記者に、くれぐれもよろしく」

あとに熱気を残して三人の招かれざる客が消えてゆく。

泉田次長が寄ってきた。松岡と八木沢も取り囲んだ。

みんな、遠まきに様子をうかがっていたのだ。

三人を等分に眺めると、支局長は小さく、何度も肯いた。そして、突然にかみつくように口を開いた。

「八木沢君、この資料、手分けして、点検してくれ、突っこんだ意見、ユニークな公害対策なんかを書きこんでくれている住民には、もう一度、もれなく、われわれがインタビュして、確かめるんや。」

「わかりました」

「あ、そうそう。『少々』の公害は、繁栄のために我慢すべし』というような意見があれば、君自身が訪ねて、くわしい談話をとってくるんや。それも、紙面にのせるからな」

別人のように張りのある声だった。

「松岡、いまの金原という人物は、たしか、君と戸波が

取材に行ったんやな」

「え、そうです。畳屋ですが、なかなかしつかりした、むしろ手ごわい男です」

「そうやろな。じゃ、こんどのアンケート、どんないきさつで始めたのか、どういう地域から集めたのか、くわしく取材しなおして来てくれ」

獲物を目前にした猟犬のように、支局長のひとみがキラキラと光った。

「それから、戸波に連絡とってくれ。なぐられたかどうか知らんが、辞表を出しっぱなしで一週間も音沙汰なしとは、ふとい奴や」

ことばとは逆に、部下を気づかう表情である。

「あいつのおかげで、このアンケートが舞いこんだようなもんやのに、何をしとるんや。そうや、松岡。戸波のところは、おれが行く。行つて、引っぱり出してくるよ。本社には、それから巻き返しや」

いうなり乱暴な仕草で泉田次長の肩を叩く。泉田が、ニタツと笑い返す。

「巻き返し、ですな」

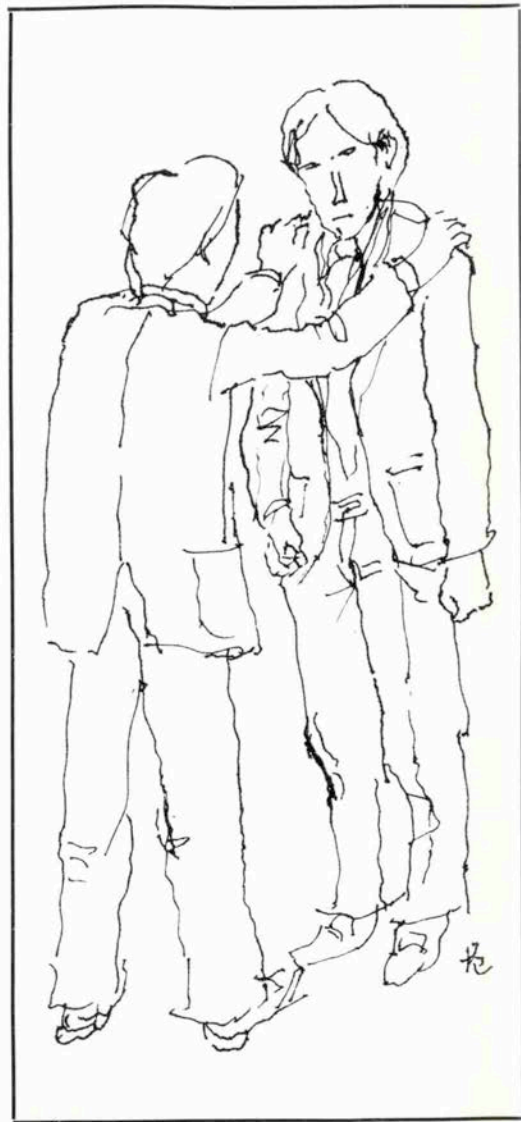
武者ぶるいに似た何かが、記者たちの背筋を走った。

六甲山系の中腹にあるその墓地公園からは、須磨の海が真下に見えた。その向こうの淡路島までが、晩秋の朝日を浴びて、手の届くところに横たわっている……。

堂本俊夫の墓標は、墓地の中でもひととき小さかった。小さいけれど、精いっぱい胸を張っているようにもみえた。

用意した線香を立て、花をいけると、戸波は合掌した。目を閉じる。堂本がよみがえってくる。恨みに満ちた娘のしのぶの表情も……。

ほんのひと月あまり前、戸波は堂本が無罪判決を受けた記事を書いた。それは、怠情な記者生活に別れを告げるための、清算の一つであった。



そしていま、本当の清算期が近づいたことを確かめるように、ここにぬかづいて。もうこの世にはいない堂本に、報告するために――。

この一カ月あまりの間に得たもの、そして失ったもの。その一つひとつが、脳裏を走りぬけてゆく。貴重なもの、いまわしいもの、二度と思ひ出したくないこと……記者生活にまつわるすべてを、ここに埋葬して行くのだ。

堂本の墓標が苦笑しているように見えた。(まだ、おれに迷惑かけるのか)と、にらんでいるようにもとれる。不意に肩を叩かれた。

石津支局長の無精ヒゲが、すぐ鼻先にあった。

「やっぱり、ここやったな」

場違いな、荒らっぽいな声である。

「朝から君のアパートを急襲したらな、思いがけない美人が現れて、部屋を間違えたのかと、びっくりしたぞ」

「すみません」

「いやいや。その美人にな、墓参りやと教えて頂いて、ピンと来たんや」

「しかし、どうして、ここ……」

「バカ。葬式の翌日に、おれは、ここへお参りに来とる

んじや」

こともなげにそういうと、支局長は封書を取り出した。「用事が、いっぱいある。まず、これや。君の辞表や。

これは、返す。受け取らんのなら、ここで破る」

返事も待たずに、封書をズタズタに引き裂いた。紙片が、こなごなになって宙を舞った。

「支局長！」

「変な声、出すな。なんじや、寝小便たれたみたいな顔しやがって……」

不意に生暖かい感情が戸波の鼻腔を走った。

傍若無人で、浪花節型で、それでいて頼りなげで、人間くさい男であった。

この支局長のおかげで公害取材班に入れられたのである。首筋をつかまれ、無理矢理、公害に鼻を押しつけられた気もする。そして細川亜紀子との出会い――。

思えば、幕切れを飾るにふさわしい体験の積み重ねであった。その一つひとつに、この男がからんでいたともいえる。

新聞記者をやめることに悔いはない。が、それに付随して引き起こるいくつかの別離が、そのつど戸波の胸をチクリと刺したのも事実である。



この支局長との訣別もまた、どれにも劣らぬほどの強さで胸に刺さりそうな気がする…。

六甲おろしに髪を逆らわせながら、支局長は戸波の腕をつかんだ。

「おい、行こう」

「どこへ行くんです」

「決まってるやないか。支局や。支局へ行って、取材にとりかかるんや」

「僕は、やめます。いや、やめました」

「辞表みたいなもの、いま破って、捨てたよ」

「それは、支局長の自由です。でも、僕はやめます」

不思議に悲壮感はわいてこない。

もうすっかり心の準備が終わったからなのだろうか。

いや、心だけではない。引越しの手続きも済ませた。二日前には、金沢へ飛んで、実家へ帰ったままの妻との離婚届も役所へ提出してきたのだ。

妻の淳子は、あっさりと言葉に印鑑を押してくれた。

三年間の空白が、事態を処理するのに役立ったようだった。妻は他人以上に他人になってしまっていた。そのことが、戸波の心を軽くした。

「だれか好きなひと、できたのね」

薄ら笑いさえ浮かべて、淳子が別れぎわにいった。

戸波は、それには答えなかった。答えのないことで、淳子はなにかを読みとったようだった。

「私も、そのうち、再婚するわ」

それが、最後のことばだった。

「報告」を聞いたユカは、「奥さんに、わるいわ」と聞きとれぬほどの声でつぶやいた。

「ほんとに、いいのね」

もう百遍もくり返した科白を、また口にした。「一緒に暮らそう」という戸波の言葉が、どうしても信じられない風情であった。

「だって、戸波さん、私の本籍も、本当の名前も一向に聞いてくれないんやもの」

恥じらいと、かすかな恨みの眼差で、まぶしそうに戸波を見上げた。——それが昨夜おそくのことである。

「わるいけど、僕、帰らせてもらいます」

腕をふり払うようにして、支局長から離れた。

「彼女が、待ってますから…」

その正面に、支局長が立ちはだかる。

「読者も、待っとる」

六甲おろしを押しのけるような声だった。

「けさ、地元の金原さんという人が、君あてにアンケートを持ってきてくれた」

その内容を手短かに説明すると、支局長は再び戸波の手首をつかんだ。

「これを突破口にして、もういちど挑戦するんや。たのむ。もどってくれ」

火のような瞳がそこにあった。心が全く動かない、といえはウソになるだろう。何かが胸の底で鎌首をもたげた。

「新聞記者の血」が、かすかに騒いだ。

しかし、言葉は反対側から出ていた。

「もう、いいんです。僕のこと、そっとしておいてください」

「バカ野郎」

怒りが、はじめて視線にこもった。

「いま脱落してどうする気や。何のために、いままで闘ってきたんや」

「もう、よしませう。そんなもの、どうせ、また、ボツですよ」

上司の毛深い掌が、ネクタイごと戸波の胸倉をつかんできた。

「おい、思い直せよ。戸波」

「もう遅い。もう結構です」

「バカ、まだ遅くないのや」

悲鳴に似た声だった。

それに合わせて六甲おろしが、ひゅうと鳴った。

(次号完結)

## talk and talk



＜神戸っ子愛読者サロン＞

★Dear 神戸っ子編集室の皆様。  
毎月、郵便受けにねじこまれた神戸っ子を引き出すのをとても楽しみにしています。でも、とうとうこの日が来たのです。というのは、ちょっとオーバーであります。あれから一年、初めてお便りしました。今でも、神戸に憧れ続けております。本日は何の関わりもないのに、いつも手をのびて歩いてくるような、ふと隣を見たと神戸があるような気持ちで通っていました。今年の春、ほんのちよとですが神戸の空気を吸ってきました。神戸っ子が運んでくれる匂いと同じなんです。お洒落でいいしくって温かいものが漂っていました。そして、何か感じた私でした。あー、早く神戸に行きたい！ Love 神戸っ子志願者 P・S 近辺内、そちらに行くかもしれない、おじ。ましては嬉しいです。

福岡市南区清水四丁目10-14

△川本 康子 V

★福岡からのオハガキありがとうございます。憧れの神戸の街がご期待どおりであれば嬉しいのですが、編集部のチーフハンサン諸氏がお待ちかね。気軽にお立ち寄り。

△編集部 V

★小生貴「神戸っ子」のひどい愛好（読者）と申すべき処読者より何よりも先ず毎月その表紙を見ただけでそしてイラスト何にもかちがすっくら魅せられてしまう）者

御繁栄御発展を祈ります。

福岡市中央区荒戸一丁目二番二十号

△鶴原 龍二 V

★今月はなぜか福岡からのお便りが多きよう。83才の神戸ファンと涙こぼるの嬉しさでアリアス。どうぞお元気で。（編集部）

★東京に居ても最近では神戸のお店が進出して来ているので居ながらにして大抵のものは買物が出来る様になったのはうれしいが、とりわけ食べものに関して言えばうまくないのである。どうも正直なところ、ひとあひふたあひも違いすぎる感じがする。神戸に行きつて食べた時や在阪時代に神戸に寄って買った時のあの味わいじゃ



ない。東京にある神戸の店は東京産の他の類似品と大差なくして失望する。

何故こうも神戸の食べものが東京に来るとうまくないのかを考えると、神戸では大抵出来たに近しいものを買って食べていたから、東京より空気も景色も良かったから食べものを食べる立地的条件もないものが総てそろっていたのかも知れない。幾ら神戸のうまいものでも空気の汚染がひどくても人口超過で景色も何もあつたものじゃない土地にやってくるはどうしょうもないのだろう。

やはり神戸の食べものは神戸に行きつて食べるのが一番の精である。神戸にも行かないで不精である神戸のお店がやって来たなどと手離して喜んではいられない。//

東京都練馬区豊玉北一丁目一二二

ムサシノアパート2号

△秋元 啓一 V

★新鮮線なら3時間30分、やはり神戸の山と海のある自然に開けた街の中でしか生れない空気や匂いも一緒に味わって下さい。

△編集部 V

## KOBE POST

★神戸大学文学部の野口武彦助教授は、九月からプリンストン大学に滞在。アメリカの住所は、

住所 Princeton University East Asian Studies Department 209 Jones Hall Princeton, New Jersey 08540 U.S.A.

自宅 127 Bay and Lane 540 U.S.A.

留守宅 (Phone) 芦屋市大原 26-1。

★現代美術の河口龍天さん（本誌目次）は、十一月に、もと住んでいた須磨沙見台にアトリエを完成。十一月中旬よりヨーロッパへ旅立たれます。

★伝統の文化、芸能を守る原動力に、上方歌舞伎の伝承者、実川延若文の後援会「神戸市井間会」会長富崎展雄（神戸市田区下山手通1/10・生田会館内078-3213851）が三月に生ま

れた。中座、文化ホールの観劇会も終えた後、9月1日季刊の後援会報「いつ」の名で創刊号を発刊しました。この会の発足に刺激を受けて、大阪で「上方歌舞伎を助ます会」が生れたとか。何といっても歌舞伎の伝統を守るには、一人でも多くの人が観劇すること、

会員増を計る「神戸市井間会」にぜひ入会をと呼びかけています。

★生田神社の名譽官司であり、神社本庁長老の加藤次郎さんが、じくなられ十月八日生田神社会館でおごそかに生田神社祭りが行われました。ご冥福をお祈りいたします。

★神戸市民協議会の谷本昌平さんが、十一月一日藤井美佐子さんとオリエンタルホテルでご結婚。おめでどう！







花嫁修業にカー ライセンス



現代っ娘には不可欠ね。！

山下 礼子 さん (邦楽家)

「とても私には自動車の運転は不向きときめかっていたのですが、神戸自動車学院の先生方は、とても親切なので、私もこの分ならいい線行くんじゃないかしら。免許は持つと便利だし、持つのが普通、もう現代の生活では不可欠じゃないかしら。彼にやってみなくちゃわからないよといわれて目下必死で挑戦中です」



神戸自動車学院のドレーチャー室

公安委員会指定・技能試験免除

神戸自動車学院

☎581-1207 (代表)

神戸市北区緑町3丁目6番1号(神鉄山の街下車)

- スクールバス神戸市内送迎(三宮・神戸駅・湊川・鈴蘭台)
- 保育設備有
- 全車新車

## インテリアをトータルに考える内装材サンプルルーム

あらゆる内装材の大型サンプルを  
国産・舶来あわせて一堂にそろえた  
全国で初めてのショールームです。  
小さなカタログ見本だけで、全体の  
イメージをつかむのは難しいもの。  
マイホームをお考えの方も、専門家も、  
自由に手にとってご覧ください。  
建築のご相談もお気軽にどうぞ！

### 内装材サンプルルーム

阪神・新在家駅南ブリコビル2F

☎078(851)3191代



### 展示内容

- カーテン ●カーベット ●ロールスクリーン ●
- 壁装クロス ● ガラス ● タイル ● ステンドグラス
- 石材 ● レンガ ● 金属 ● 床シート材 ● 木質材 ●
- 建具 ● 輸入家具用金物 ● 塗装仕上材 ● その他

家具・室内装飾・住宅・店舗  
企画・設計・施工のオールマイティ

### 入船株式会社

神戸市灘区新在家北町1丁目1-19

ブリコビル2・3F

☎078(851)3191代

トータル・インテリア・ショップ

グランド六甲ポウルビル1・2F ☎(851)2841

ni インテリア リフォーム



# 神戸のうまいもん&ドリンキング

## ★日本料理

讃岐名代うどん **あこや亭**  
神戸市灘区旗塚通7-5 TEL 231-6300  
トアロード店 TEL 391-2538  
兵庫駅前店 TEL 575-5306

和食 **くれない**  
三宮生田新道浜側中央  
KCBビル2F TEL 331-0494

かつぱう **吉本**  
神戸市生田区加納町3丁目95-1  
(ニュージャパン別館前) TEL 241-3450

鍋もの・おむすび **悟味西**  
お茶漬・かばた  
神戸市生田区北長狭通1の20 TEL 331-3848  
三宮さんちカタウン TEL 391-5319

お茶漬・おむすび **ふる里**  
焼もの  
神戸市生田区北長狭通2の1  
TEL 331-5535

たこ焼 **たちばな**  
三宮センター街(旧柳筋) TEL 331-0572

北海道郷土料理 **蝦夷**  
神戸市生田区中山手通1丁目115  
生田区東門筋東門会館ビル1階  
TEL 331-7770

カニ料理 **婆娑羅(ばさら)**  
神戸市生田区北長狭通1丁目18  
三宮阪急西口北側レインボープラザ1・2F  
TEL 321-6363

天プラハウス **瀬戸**  
美術喫茶  
神戸市生田区山本通3丁目27の9  
瀬戸ビル1F TEL 221-6548

## ★西洋料理

レストラン **アポロン**  
ティー・バー  
神戸市灘区八幡通5丁目6 TEL 251-3231

レストラン **鹿鹿皮<あらかわ>**  
神戸市生田区中山手2-9 TEL 221-8547・231-3315

GALLERY & STEAK HOUSE **SAN-MON 三門**  
神戸市生田区中山手通2丁目98/99 TEL 331-5817

ステーキハウス **れんが亭**  
神戸市生田区下山手通2丁目34 TEL 331-7168

レストラン **セントジョージ**  
神戸市生田区北野町1丁目130 TEL 242-1234

レストラン **男爵**  
神戸市生田区中山手1-18  
山手第一ビル1F TEL 241-0778

maison de la mode **花屋敷**  
三宮フラワーロード市役所前 TEL 251-2109

鉄板グリル **きゃんどる**  
神戸市生田区北長狭通2-22 TEL 331-1183

レストラン **フィッシャー・マンズ・ポート**  
神戸港第4突堤ボートターミナル  
TEL 331-0301

居酒屋 **ロス・ヒターノス**  
フラメンコショー  
生田区下山手通3丁目22  
下山手セントラルハイフ  
TEL 391-5431

レストラン **ムーンライト**  
三宮・生田新道 TEL 331-9554  
TEL 331-2509

グリル・鉄板焼 **月六**  
BARBECUE & STEAK  
生田区元町通3丁目  
TEL 331-2108

レストラン **スイス・シャレー**  
神戸市生田区北野町3丁目48アニルドマンション1F  
TEL 221-4343

フランス料理 **ビストロドゥリオン**  
神戸市生田区山本通2丁目40-1  
TEL 221-2727

ビッファハウス **ピノッキオ**  
神戸市生田区中山手2-101  
TEL 331-3545

レストラン **フック東店**  
神戸市生田区栄町1-5-3 TEL 321-3207

ビザ&スナック **ガルの店**  
灘区琴緒町5丁目1-7 西山ビル1F TEL 241-9025

ステーキハウス **グリル青山**  
神戸市生田区中山手通2丁目112-2(トアロード) TEL 391-4858

レストラン **フック神戸店**  
神戸市生田区栄町通2丁目24 TEL 321-3453

レストラン **元町フルーツホール**  
フランス料理  
元町1番街 TEL 331-1987

ピザ・パブ **ピザ・パテオ**  
神戸市生田区元町通1丁目49(元町1番街)  
TEL 331-9378

ナイスト **火の鳥**  
レストラン  
神戸市生田区中山手通1丁目27  
TEL 242-1330

スカンディナヴィア料理 **ゴックスタッド**  
世界の民族音楽の店  
生田区山本通3丁目18 回教寺院前  
TEL 242-0131

メキシコ小料理 **ティファナ**  
神戸市生田区中山手通1丁目4ノ12 パールコーポラスビル1F  
TEL 242-0043

ステーキ&ドリンキング **黒牛**  
神戸市生田区中山手通2丁目39の36  
TEL 241-3739

ドイツ風音楽レストラン **コーベ・ローレライ**  
生田区北長狭通6丁目39  
TEL 371-0086

★喫茶 **にむら珈琲店**  
宮小の  
中山手店・神戸市生田区中山手通1丁目70  
TEL 221-1872・231-9524  
センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目35  
TEL 391-0669

北野店・山本通2丁目9 TEL 242-2467  
(会員制) 3F事務所 TEL 242-1880

喫茶 **ガーデニア**  
神戸市生田区東町113-1 大神ビル1F  
TEL 321-5114

珈琲 **モーツァルト**  
神戸市生田区山本通2丁目98グラッドマンション1F  
TEL 241-3961

ティー&スナック **サボテン**  
神戸市生田区中山手通2丁目  
(神戸女子短大前) TEL 241-7060

ティー&スナック **エポック**  
神戸市生田区元町通3丁目(浜側)  
TEL 331-3694

★club **千**  
クラブ  
神戸市生田区下山手通2丁目1121  
TEL 391-1077

c l u b **飛鳥**  
神戸市生田区中山手1丁目117  
TEL 331-3567

c l u b **小万**  
神戸市生田区東門筋中島ビル3F  
TEL 391-0638・4386

c l u b **さ**  
神戸市生田区中山手通2丁目75  
TEL 331-7120

c l u b **なぎさ**  
神戸市生田区北長狭通2の1 TEL 331-8626

くらぶ **うーげん**  
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F  
TEL 331-8593

c l u b **Moon Light**  
BAR TEL 331-0886・391-2696  
Club TEL 331-0157

クラブ **るふらん**  
神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854

★STAND & SNACK **スカールレット北野**  
お好み鉄板スナック  
神戸市生田区北野町2 北野アーバンライフ1F TEL 242-0006

ドリンキング & レストラン **ベルビュ・ドール**  
神戸市生田区中山手通2丁目101 大洋ビル2F  
TEL 321 5677

スタンド **かてな**  
生田区中山手通1丁目90 英健ビル1F  
TEL 331-1316

洋酒ハウス **雑貨屋**  
生田区下山手通2丁目8の6  
(生田新道相模タクシー橋上る) TEL 321-0260

スタンド **グラムール**  
生田筋岸ビル地階 TEL 331-4637

スナック&ドリンク **姫**  
神戸市生田区中山手通1丁目18 TEL 221-1950

カクテルラウンジ **サヴォイ**  
高架山側 テキの店北 TEL 331-2615

DRINKING IS AN ART OF LIFE **ウッドハウス**  
神戸市生田区下山手通1丁目32 PHONE 078-241-7320

スナック **ビジービー**  
神戸市生田区中山手2丁目 TEL 391-4582

居酒屋 **ボルドー**  
生田新道浜側中央KCBビル1F TEL 331-3575

Wine and something **珍地理屋**  
神戸市生田区中山手通1丁目24-7  
大和ナイトプラザ1F TEL 242-0288

サロン **神戸時代**  
生田区中山手通1丁目28  
シャドウコトブキビル TEL 242-3567

ナイトイン **おしゃれ貴族**  
神戸市生田区中山手通1丁目24-7  
大和ナイトプラザB1 TEL 242-1925

スナック **く**  
生田区中山手通1の72  
TEL 331-6985

キャン **ティ**  
本店洋酒の店 神戸市生田区北長狭通2ノ3  
tel 391-3060・391-3010  
北店スー&パンの店 神戸市生田区下山手通3ノ8ノ9  
tel 331-3661

DRINK SNACK **スネカジリッ子**  
神戸市生田区下山手通2丁目  
水鏡ビルB1 TEL 391-8708

music spot **サントノーレ**  
トアロード店 生田区下山手通2丁目トア・ロード  
tel 391-3822

北野店 生田区中山手通1丁目24-7  
ダイワナイトプラザ6F tel 221-3886

素舌洞 **でっさん**  
神戸市生田区北長狭通1丁目258  
TEL 331-6778

STAND **マシュケナダ**  
生田区下山手通2丁目ちやいなタウン地下  
TEL 331-5587

スナック **GASTRO**  
神戸市生田区中山手通3-20  
トアマンション TEL 231-0723

ティー&パブハウス **バス・チャーリントン**  
生田区北長狭通2丁目(トアロード)  
TEL 332-1125

純会員制 **エドワーズ倶楽部**  
神戸市生田区北長狭通1丁目28  
ホワイトローズビル5・6F 生田新道 TEL 391-3300

サロン **アルバトロス**  
生田区中山手通1丁目24の7  
大和ナイトプラザ2F-B TEL (231)3300

CAFE WHISKY **音楽の家・ETエトワTOI**  
神戸市生田区三宮町3丁目 三宮センター街西入口  
スカイトアビル3F TEL 332-1755

スナック **山荘**  
神戸市生田区北長狭通1丁目22  
TEL 391-5823

スタンド **紋**  
神戸市生田区北長狭通1丁目41-1 レンガ筋  
TEL 331-8858

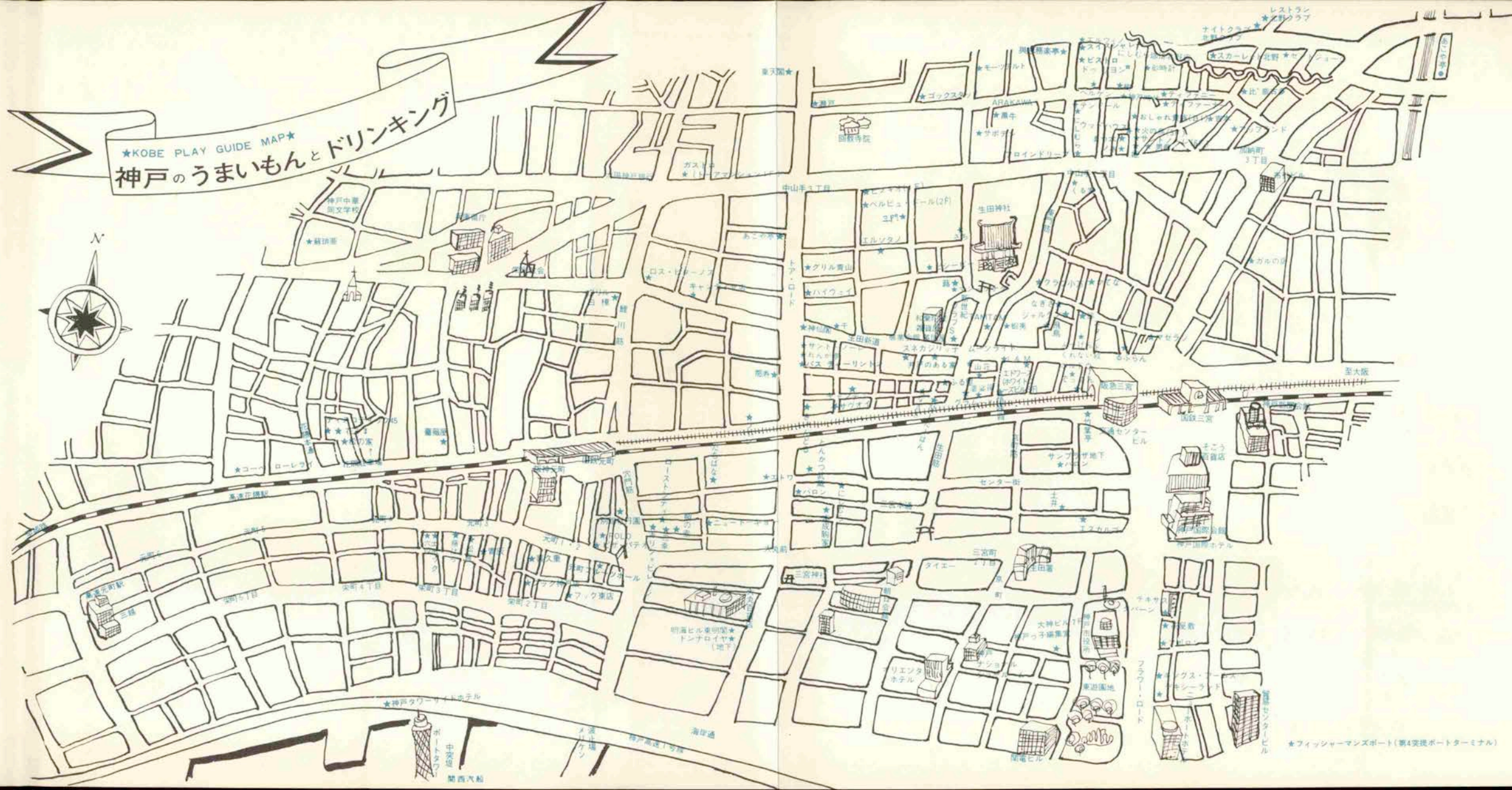
スナック **興志務楽亭**  
神戸市生田区山本通2丁目60パールライフB1  
TEL 242-1977

SNACK L **8 M**  
生田区北長狭通1丁目25  
生田新道ビルB1  
TEL 321-3070



★KOBÉ PLAY GUIDE MAP★

# 神戸のうまいもん＆ドリンキング



★フィッシャーマンズポート(第4突堤ポートターミナル)



# baLon antique series

## 34 人形

角卓さん

〈画家・光風会〉

「原点にかえること、ストレートにナチュラルに生きること、このシラジらしい世の中ではたいへんなこと」そういう角氏の今の生活は、「その奥へ、その奥へ、わかり得ない世界へわかり得ないままであっても没入すること」であり、「疑問をもってはじめての物事を発見した過去の人々のその感激は今の世界にない」と残念がる。

何事にも何故？ どうして？ の疑問を投げかけながら、自分に一生懸命に行為スルことが、生きていること。

さんブラザ店

カメラ／米田 定蔵



# バロン

★英国風喫茶・レストラン 三宮さんブラザ店  
TEL 391-1758 AM11:00~PM9:00迄

★コーヒーショップ トア・ロード店  
TEL 391-1210 AM10:00~PM9:00迄

★コーヒーショップ センター街店  
TEL 391-1375 AM10:00~PM9:00迄

# 買物・味散歩

元町1番街  
321/0801

## ハンドバック シラサ



いかに元町といつた雰囲気の手バック専門店シラサには、ミセスの方々に評判の高い品揃え。イタリアのグッチ、フランスのデオールセリヌ。そしてシラサのオリジナル。この秋冬は、黒と茶がともシツク。

## ラ・モード

婦人服装

元町1番街  
331/5689

アートの秋にふさわしい《ラ・モード》の彫刻のあるウインドウはモダンでシツクな雰囲気。神戸らしさが漂うこの店は、色・柄・シルエットともに本格派好みのオートクチュールなのです。



二つ茶屋二階  
とんかつ

## 一番



元町1番街  
331/0755

食欲の秋。スタミナがついて、気軽に楽しめる“とんかつ料理”は何といつても会社帰りや家族連れには一番。とんかつの他に、串かつ、エビかつ、ロールとビール（大300円）でぜひ。



とんかつ ￥1,000  
ふきよせ ￥1,400

## 菊 秀

刃物・金物・家庭用品

元町1番街  
321/0616

毎日使うキッチンセットの数々は、女性にとつて何よりの関心事。ストックリー社、スプリング社などスイスを代表する手打ち銅製品はことに好評。コーヒカップや、グラスの色々、包丁、はさみ類など老舗らしくサービスの行きとどいた品揃えです。





# 千秋堂

洋品の店



秋は男の粋をみせるおしゃれな時。シニアの本格派を中心にした、ブレザーやニットシャツ、スポーツシャツは「千秋堂」の風格をみせたコレクション。

この秋冬は、茶や、ダークな色のものが多く柄もシツクに落ちついた傾向です。



元町4丁目  
☎ 341/6959

# マシヤ

婦人服飾



なんといつでも秋はおしゃれに心ときめく時。元町らしいゆつたりとした店構えのマシヤは、神戸の女性にふさわしいトータルなファッションのコーディネートが楽しめる豊かな品揃えです。



元町3丁目  
☎ 321/5991

# みの幸

京風料理

元町でちよつと落ちついた雰囲気「みの幸」で、京の味が楽しめます。季節料理の一品で灘の生一本をというのもおつなもんだし、カニスキ、しゃぶしゃぶ、湯豆腐、また「みの幸鍋」など暖かい鍋料理が。冬にむかつて家族連れで味わって下さい。



元町4丁目  
☎ 351/6288

# ティール&スナック エポック

元町3丁目浜側  
☎ 331/3694



★元町を道ゆく人々たちを窓辺で眺めながら飲むコーヒの味はとてもしゃれた感じ。ベルエポック風の優雅な店内は元町らしく落ちついた雰囲気になく、プロフェッショナルなバーテンさんと揃っている。



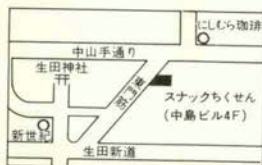
営業時間午前9時～午後8時迄  
珈琲/紅茶200円 スパゲティ・カレー300円 月～土午後6時～9時 20名以上の貸切りパーティ可。

秋の夜のひとときを《ちくせん》のあたたかなスペースで……



小集会・誕生祝・忘年会などのパーティーにご利用下さい。

ちくせんミュージックタイム  
神戸のター坊による演歌熱唱 8:00p.m～0:00a.m.



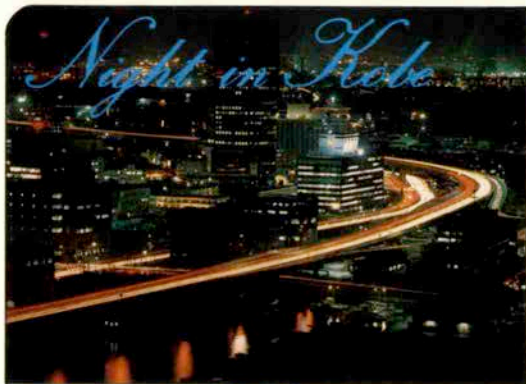
スナック  
**ちくせん**

生田区中山手通 1 丁目 85 (東門筋) 中島ビル 4F  
近藤正実・岩本文夫



☎ 331-3131





## SATIN DOLL

生田区中山手通 1 丁目57  
TEL 242-0100  
6:00P.M~4:00A.M 無休

今日のお客さまは、亀井氏の会社、レンタルスタジオ・神戸ボーセーレンの新入社員歓迎パーティでした。みなさまも、ご家族づれ、小パーティに、飲んで食べて、ジャズに乗ってのサテンドールで気軽にお楽しみください。



秋。ロマンの夜。  
なにげない語らい  
吟味されたメニュー  
おしゃれなスペース。



生田区  
大和ナ  
TEL 2  
2  
6:00P.



この看板のお店です

## ETRANGER

トア・ロード丸善ビル4F

TEL 391-8578

6:00P.M~ 年内無休







RESTAURANT

UPLANDS

生田区加納町3丁目

1-34

☎ 241-8271



DRINKING IS AN ART OF LIFE

WOODHOUSE

生田区中山手通1丁目32

山内ビル

☎ 241-7320

KOBE DRINKING GUIDE

山崎  
ステーキハウス

生田区中山手通1丁目

前川ビル1F

☎ 391-3335



RESTAURANT

SWISS CHALET

生田区北野町3丁目48

アニルドマンション1F

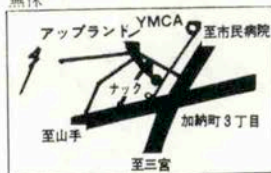
☎ 221-4343



★バブといえばイギリスが本場。『アップランド』のマスターD.A. トーマスさんは、イギリスのウェールズ出身。彼自身バブ野郎を自認しているのですが、本場の気安く陽気な雰囲気とライブミュージックの店として『アップランド』をオープンして2カ月。楽しく飲んだりしゃべったりする若者や外人客でいつも賑やかです。今日はミュージックタイムをご紹介します。月、水、金曜日（8:30 P.M. から4回）／チャペリーとショウのギターとボーカル。火、木、土曜日（7:25 P.M. から4回）／難波&高垣のピアノとベース演奏。

☆ランチタイム（11:00 A.M. ～2:00 P.M.） ランチ¥400 コーヒー、紅茶各¥200

☆ローストビーフ¥2,700 シェパーズパイ¥850 ステーキ&キドニイパイ¥600 コーニッシュシェパースティ（ミートパイ）¥600 フィッシュ&チップス¥500 J&B, OLD, G&G各¥400 ビール¥300  
平日・祭日 11:00 A.M. ～3:00 A.M. 日曜 6:00 P.M. ～0:00 A.M. 無休



アップランド

KOBE  
DRINKING  
GUIDE

★ウッドハウス・お店の人紹介第3弾

本名小浜アキラ、27歳、通称アキラ。九州は佐世保出身の九州男児。酒はめっぽう強く、特に日本酒とくれば強い何の……分らない。それに彼の音楽好きは有名なもの、それと踊り。昔のツイストから最近のゴーゴー、そして今流行しているバンプと……何を踊らせても絵になる彼です。セクシーな感じで彼女にせまれば天下一品。お嬢さん、いかがですか。一度彼と踊っては……？ ウフフ。ところで彼は一児のパパです。念のため。

☆営業時間のお知らせ。平日 5:00 P.M. ～2:00 A.M. 日曜 6:00 P.M. ～0:00 A.M. 年中無休  
ビール（小）¥300 水割り（オールド）¥400 フィズ¥500 おつまみ¥100 スバゲティ¥400 ピラフ¥400 ほか。

ウッドハウス



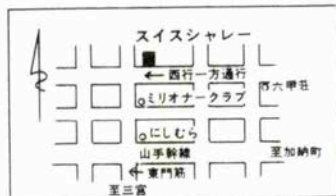
ヤマサキ



★秋も深まり爽やかな季節になりました。さわやかな秋はまたステーキのおいしい季節です。ステーキハウス「山崎」へいらっしやいませんか。最上級の神戸肉と新鮮な生野菜をご賞味下さい。きっとご満足いただけるでしょう。また、落ち着いた雰囲気、それに、各種のワインも揃っていますので、ゆっくりとお食事を楽しんでいただけます。30名ほどのパーティーの予約も承っています。家族づれ、友達同士、グループなどの会合にぜひご利用下さい。

☆最上級神戸肉ステーキ¥5,000 サーロインステーキ¥3,000 テンダーロインステーキ¥3,000 車海老のバター焼き、アワビのバター焼き。ビール¥300 ボトル（OLD）¥5,000 ボトル（ホワイトホース）、ボトル（カティサーク）各¥7,000  
5:00 P.M. ～1:00 A.M. 日曜日休み

スイスシャレー



★空気が肌にひんやりと感じられる季節です。こういうときは家庭的な雰囲気のお店であたたかい食事をしたいもの。『スイスシャレー』はスイス人の経営による本場のスイス料理の味わえる店です。静かな店内は食事のあとのくつろぎのひとときに最適です。これからの季節にはフレンチスタイルのベッパーステーキ（¥3,700）、ターターステーキ（¥3,500）、ビーフフォンデュ（¥3,800）、チーズフォンデュ（¥2,300）などをオススメします。ご家族づれで、グループでぜひお楽しみ下さい。また、月曜日は貸切りのパーティーをやっています。ご予算に合わせて料理を用意しますのでお申しつけ下さい。他にも各種のスイス家庭料理（¥1,500～¥2,000）やスイス、フランス、ドイツのワイン（¥1,500～¥4,500）を取り揃えております。

12:00 P.M. ～10:00 P.M. 月曜日休み